

定義がない。

昨晩は飲みがあったので更新はできませんでしたので、今日は2日分を書こうと思います。

まず月曜日はミーティングの資料を作り、中身としては今まで調べてきた、ノイズ対策についてと、ようやく形になった、FLLのブロック図。

ノイズ対策はけっこう調べたけど、なんともいえません。
ノイズの種類は(自分が対象とするノイズ)

- ノーマルモードノイズ
- コモンモードノイズ
- RFノイズ

この3種類。

そんでやつらはどこにでも潜んでいて、姿形は見えない。
けれど出力や結果にのっかって出てくる。

そんで万能な対策は無いけれど、いくつかの対策はある。

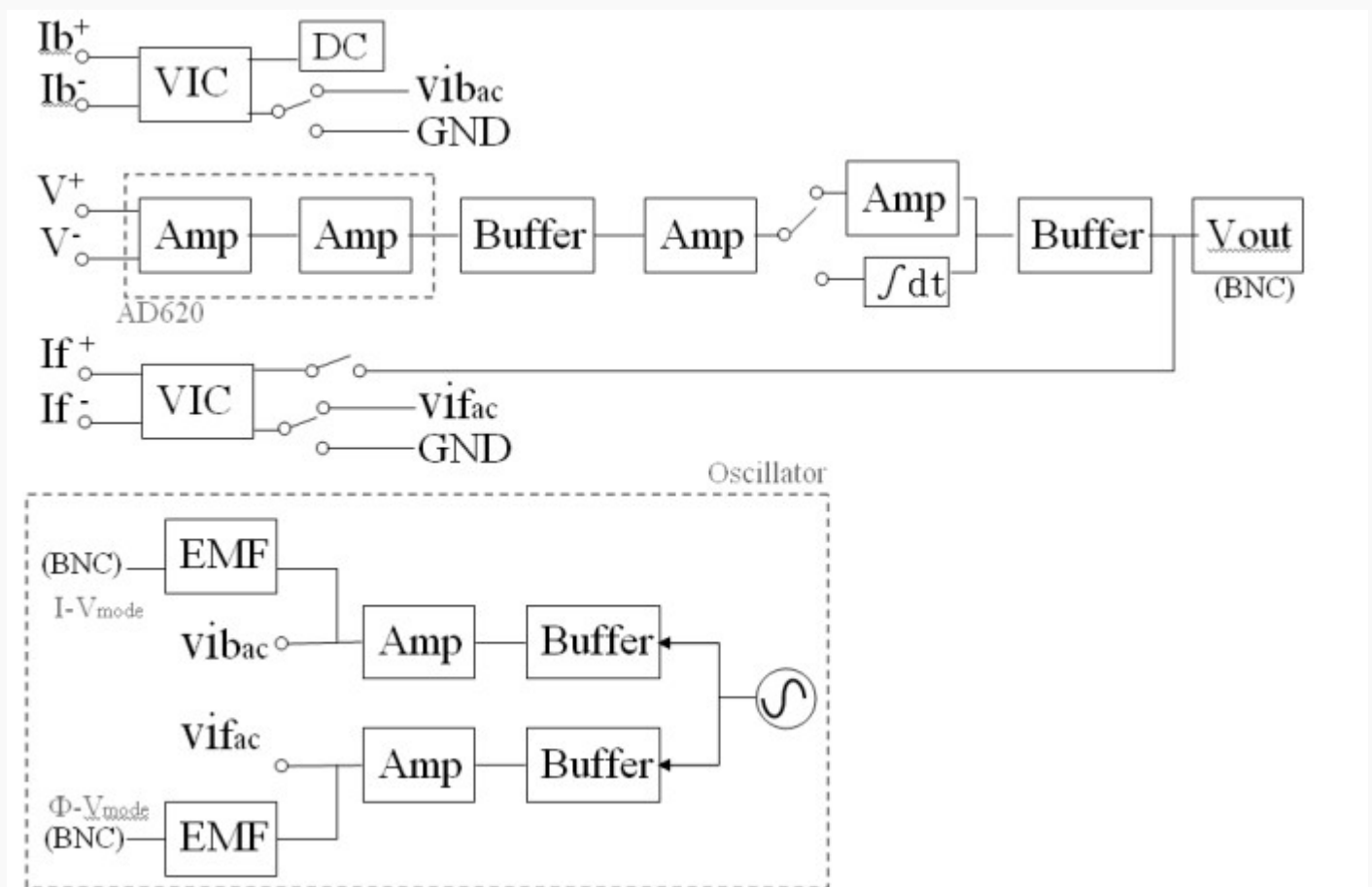
- パスコン(バイパスコンデンサ)
- パターンの書き方
- バッファの使い方

これくらいはやらなければまずいだろう。

パスコンは各ICに2~3個は必要だし、電源まわりは大きな電解コンデンサ(47 μ F)が必須。
それに、信号のながれを意識して、パターンも書くべきだろう。
変に信号の流れを変えたりすると、ノイズを引き込む可能性がある。

しかし、今考えると、7月に作製したAnalog FLLはパスコンが1つも入ってないのに、
何故動いたのだろう・・・。
医大だからかなあ。

あと、FLLのブロック図は下のような感じに。



火曜日はミーティングで発表し、午後からは3年生の心電計の発表。
僕たちの時とは違って、かなり手際よく進めていたようで、ちょっと感動。
パワーポイントも2班が特色あり、よかったんじゃないかなと思いました。
3年生のみなさん！お疲れさまでした。

んで、ミーティング後はホームページをアップして、トラ技のパターン図の書き方を
読もうと思ったけど、昨日の飲み&ボーリングの疲れでやる気が・・・。

ということで、今日は帰ってバレー見ます。